

授業科目名	健康支援と社会保障制度	担当教員	村上信
必修	開講年次：2年後期	単位：2単位	授業形態：講義 30時間

【授業概要】

人々の健康と生活の観点からわが国の医療、社会福祉、社会保障制度の概念を学び、保健、医療、福祉領域の職種が如何に連携しあって利用者の意思決定を支える体制を展開してゆくのかを学び、特にその中での各医療従事者の役割を検討する。

【授業目的・目標】

1. 人々の健康と生活を自然、社会、文化的環境のダイナミックな相互作用の観点から理解する能力を養う。
2. 医療、社会福祉、社会保障制度の基本的理念施策体系、連携体制を理解する。
3. 利用者の意思決定を支える情報の提供と援助方法について理解する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 社会保障とは何か
- [02] 社会保障制度の目的と機能
- [03] 生活者の視点からみた健康と社会保障
- [04] 社会保障と社会福祉
- [05] 生活保護と医療扶助
- [06] 医療保障と医療保険
- [07] 日本の医療保険の特徴とその問題点 (1)
- [08] 日本の医療保険の特徴とその問題点 (2)
- [09] 日本の介護保険の特徴とその問題点 (1)
- [10] 日本の介護保険の特徴とその問題点 (2)
- [11] 所得保障 (年金) の概要
- [12] 雇用保険制度・労働者災害補償保険制度の概要
- [13] 保健・医療・福祉の連携と統合 (1)
- [14] 保健・医療・福祉の連携と統合 (2)
- [15] リフレクション・質疑応答

【教科書】

1. 福田素生著他 (2018) 系統的看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉 [第 19 版], 医学書院
*2017 年度に「社会福祉学」を受講した学生は、そのとき使用した版のテキスト使用可

【参考書】

1. 社会保障入門編集委員会編集 (2018) 社会保障入門 2018, 中央法規
2. 厚生労働省編著 (2017) 平成 29 年版—社会保障と経済成長, 厚生労働白書

【評価方法・評価基準】

筆記試験 (100%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前課題の記述を行うこと。

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、課題の記述を行うこと。

【教育目標 (必須要素) との関連】

この科目は、教育目標の必須要素 I. 教養教育で培う普遍的基礎能力、V. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、VII. 国際的視野の育成と地域貢献能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートについては授業中に傾向について示しフィードバックを行う。

【備考】